Time Table



会場案内図





個性

全国まちづくり会議2018in福岡 2018.9/8 3 9 10 EXCURSION

期間:2018年9月8日[土]~9日[日]、10日[月]エクスカーション 会場:福岡市東区箱崎6-10-1九州大学箱崎キャンパス

2018年9月8日(土)~9日(日)

- ◆基調講演 藤浩志(アーティスト、糸島在住、十和田市現代美術館館長を経て 秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科·アーツ&ルーツ専攻教授·副学長)
- ◆ディスカッション ◆特別表彰 ◆パネル展示

9月8日(土)18時 ◆懇親会(九州大学箱崎キャンパス)

9月10日(月) ◆エクスカーション

- 主催:認定NPO日本都市計画家協会
- 共催:九州大学(伊都キャンパス完成記念行事)
- 後援:国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、西日本新聞社
- 協賛:九州電力(株)、西部ガス(株)、積水ハウス(株)福岡マンション事業部、三菱地所(株)、 (株)URリンケージ、九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)、(株)日建設計(株)日本設計、 (株)アルテップ(株)エックス都市研究所、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)よかネット、 (株)安井建築設計事務所、(株)久米設計、(株)醇建築まちづくり研究所、(株)福山コンサルタント (株)样設計(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、(株)竹中工務店











開会式 人と時のつながりが紡ぐ「まちの個性」 ~関係が生まれる時空のデザイン~

旧工学部本館1階大講義室/9月8日(土)13:00~13:15

開会挨拶 小林英嗣 (日本都市計画家協会会長) 来賓挨拶 久保千春氏 (九州大学総長)

来賓挨拶 中園政市氏 (福岡市副市長)

まちづくりで大切にしたいことは、人のつながり(交流、交易、ネットワーク、ソーシャルキャピタル、信頼)と時のつながり(歴史の継承、場の記憶、場所性の解読、時間とともに育 つ環境)、そして人と時のつながりがつくりだす「まちの個性」です。大陸に近く、古代より海外との交流・交易が盛んであり、時間をかけてまちを形成してきた九州・福岡の地、伊 都への移転を完成する九州大学箱崎キャンパスに、全国のまちづくり活動をしている人々が集い、それぞれの抱える課題について情報交換しネットワークを広げます。住民、企 業、行政などの立場の違いを超えて、まちの強靱性、発展と縮退のデザイン、QOLとサステイナビリティーなど、過去、現在、未来にわたって人と時のつながりが紡ぐ「まちの個 性 | をテーマに、話題を持ち寄り多角的に意見を交換します。

旧工学部本館1階大講義室/9月8日(土)13:15~13:30

森田一義氏(ビデオレター放映)

都市や地域を読み解くことの面白さを広く一般に知らしめる活動を高く評価するものです。全国各地の地 形、歴史、ものがたりなど、それまで知られていなかったことを含めて、専門家を交えてわかりやすく説明し、 全国各地の都市の理解を深めることに貢献していることから、最もふさわしい人物として特別賞を贈ります。

※全国まちづくり会議での森田―義氏に関する写真撮影およびビデオ撮影ならびにSNSでの配信は 固くお断りいたします

基調講演及びパネリスト 藤浩志

(アーティスト/秋田公立美術大学)

パネリスト

(日本都市計画家協会、(株)キャッセン大船渡)

福田忠昭

旧工学部本館1階大講義室

9月8日(土)13:30~15:15

(LOCAL&DESIGN(株))

小泉秀樹(日本都市計画家協会、

高鍋剛(日本都市計画家協会、

黒瀬武史(九州大学)

鄭一止(熊本県立大学)

趙美香(東京大学)

東京大学)

都市環境研究所)

進行



基調講演では、福岡県糸島市在住であり、全国・海外で活躍しているアーティストである藤浩志氏をお招きします。藤氏は地域の人やモノ、場をつな いで様々な「活動」を生み出し、さらにその活動が継承されるための「仕組み」を考えられています。テーマは多様であり、廃棄物のビニール・プラス チック類を用いたり、防災を切口としたり、「灯明」のようなインスタレーションもあり、これらのアート活動自身がまちづくりそのもののようです。藤氏 の活動を通じて、これからの新たな都市計画やまちづくりのあり方を問い直すことができるのではないかと考えています。

パネルディスカッションでは、藤氏に加え、東北で東日本大震災の復興などに携われれている臂徹氏と、地元、福岡地域戦略推進協議会より榎本拓真 氏をお招きし、非常に元気なまちとして注目を浴びている福岡市を話題にして、今後大きく変わる人口構成やシェアリングエコノミーなどにどのように 対応していくのかについて、手掛かりを見出せればと思います。

点在する歴史文化遺産をまちづくりに活かす

旧工学部本館1階大講義室 9月8日(土)15:30~17:30

田村邦明(筥崎宮権宮司) 田上稔(福岡県教育庁文化財保護課) 城戸康利(太宰府市教育委員会文化財課) 北島力(NPOまちづくりネット八女) 大塚政徳(まちなみネットワーク福岡)

多くあります。例えば、箱崎は筥崎宮を擁し社家町・ の保存と活用のあり方、そして歴史まちづくりへの 展開方法について考えます。

宿場町・漁師町が織りなす歴史的なマチで、その遺 産は点在して残る状況です。本フォーラムでは、歴 史文化遺産が重要伝統的建造物群保存地区のよ うに連続せず点在して残っているマチに眼差しを 向け、先進的な事例に学びながら、歴史文化遺産

歴史文化遺産が点在して残っているマチは全国に

箕浦永子(九州大学)

ejob事業はこれからの都市計画に貢献するか?

旧工学部本館3階10番講義室/9月8日(土)15:30~17:30

徳田剛一((株)まちかん設計) 池田準哉((株)都市環境研究所) 西口徹((株)オオバ)

菊地成朋(九州大学)

趙世晨(九州大学) 山本英治((株)福山コンサルタント) 大西信也(福岡市) 田川英一郎(日本都市技術(株)) 内藤隆(北九州市)

箱嶋斉(第一復建(株)) 安藤裕之(日本都市計画家協会、 両角光男(熊本大学)

相模原市) 中野信吾

(パシフィックコンサルタンツ(株))

都市計画4団体(学会、都市計画協会、コンサルタント協会、家協会)の共同事業として、 コンサルの業務実績を自治体に評価してもらい、優良とされた業務を公開してデータベー ス化するeiob事業は、試行期間の2年を経て本格実施2年目となっています。当初の目的 だった発注側の自治体にコンサル情報を提供することに加えて、蓄積されたデータを活用 するなどして、都市計画業務の現状とこれからを考える手がかりとできるかを議論します。

3 日韓まちづくりフォーラム

旧工学部本館3階大会議室/9月8日(土)15:30~17:30

尹ヒョンソク ((株)カルチャー・ネットワーク)

趙グウンヌン((株)地方) 林ヒョムク((株)ビルド) 尹ジュソン

吉原勝己((株)スペースRデザイン) 榎太拓真 (福岡地域戦略推進協議会)

浅海義治(練馬まちづくりセンター) (建築都市空間研究所)

本フォーラムでは、韓国と日本のまちづくり関係者が集まり、各々のまちづくりの実践手 法や取り組み状況、制度体制等について相互に情報交換し、2国の実践家研究者間の交 流を深める。また、日韓における支援側と実践側の現況と課題について、異なる状況と 共通する手法について議論する。一方、韓国人向けに9月7日の夕方から9月10日まで 福岡ツアーを企画する。

「暮らしかた」から考える地域の再生

本部第1庁舎2階第1会議室/9月8日(土)15:30~17:30

柴田建田の里暮らしの編集室) 水谷元(能古島みらいづくり協議会) 森重裕喬((株)ホーホウ取締役) 吉浦隆紀(樋井川村村長)

人口減少が進むなかで、地域外からの移住や、観光を中心とした交流を促すためには、 その地域ならではの特徴ある「暮らし」のあり方を見つめ直すことが求められています。 空き地や空き家の増えた地域でも新たな「暮らし」のあり方を想起できることが再生の 原動力となっています。本フォーラムでは、福岡都市圏で様々な個性的な「暮らしかた」 を見出し、新たな取り組みが進められている実践者をお招きして、新たな地域再生のか たちを議論します。

小谷俊哉(都市農地活用支援センター)

観光からはじまる景観づくり

旧工学部本館3階大会議室 9月9日(日)10:00~12:00

高山美佳(LOCAL&DESIGN(株)) 吉中美保子(西日本鉄道(株)) 内田晃(北九州市立大学) 高尾忠志(九州大学)

9月9日 🗉

梅本下紀(元·環境開発研究所)

川端亙(日建設計九州オフィス)

柴田久(福岡大学)

福岡地域戦略推進協議会)

牧敦司(日本都市計画家協会、

(株) 醇建築まちづくり研究所)

旧工学部本館1階大講義室

9月9日(日)10:00~12:00

尾辻信宣(合同会社G計画デザイン研究所)

旧工学部本館3階10番講義室

9月9日(日)10:00~12:00

水口俊典(生產緑地研究会座長)

佐藤啓二(都市農地活用支援センター)

柴田祐(熊本県立大学)

福岡の都市デザインをレビューする

都市農地を活かすまちづくりの展望

榎本拓真(Local Knowledge Platform、振り返り、現在の姿を映しながら、来るべき未来

観光振興の施策が、短期的なITやSNSなどを 活用した情報発信(動画の配信等)やブラン ディング等の「ソフト施策」に偏りがちな気がし ます。本来、大切な観光資源は、地域の「歴史」 や「景観」、「環境」とつながり、総合的に育てら れていくものと思います。このフォーラムでは、 市民や企業、大学など多様なセクターが関わり ながら取り組む観光からの景観や空間づくりの 視点や施策を考えてみたいと思います。

日本で最も元気のいい地方都市として注目さ

れる福岡。博多駅リニューアル、KITTE博多な

ど拠点開発が進む博多駅周辺。続いて天神地

区では福ビル再開発・大名小跡地開発、ウォー

ターフロント地区開発などビックプロジェクトが

目白押しです。アジアのリーダー都市を標榜し

邁進する福岡の都市デザインについて、過去を

の姿について、実務担当者やキーマンから話題

「都市農業振興基本法」(2015)の成立により、

都市部の農地が「宅地化すべきもの」から「ある

べきもの」へと転換し、特定生産緑地制度や田

園住居地域が創設(2017)されました。2018年

9月には「貸借の円滑化法」の施行が見込まれて

います。こうした新しい都市農地制度の活用可

能性とその課題について紹介するとともに、三

大都市圏特定市に留まらない地方都市も含めた

今後の都市農地制度のあり方を展望します。

を提供していただき考察します。

花と緑のまちづくり推進フォーラム

本部第1庁舎2階第1会議室 9月9日(日)10:00~12:30

八木波奈子(ビズ編集局) 桂川孝裕(亀岡市長) 内倉真由美(北海道恵庭市) きむらみえこ(美しいまちづくり研究会) 石井康子(福岡市緑のコーディネーター) 上原真之(福岡市) 井上忠佳(日本都市計画家協会)

市民主体のまちづくりの効果的なアプローチで ある「花と緑のまちづくり」をより円滑・持続的に 推進するため関係者が一堂に会してあるべき 姿を議論します。花や緑を活用した(1)観光と 景観(2)環境・情操・食育・アクティブラーニング 等教育支援(3)地域振興(4)職場環境への花 緑の導入(働き方改革等)(5)環境保全(生物 多様性)等多様な分野のまちづくりに関わる政 策横断的な「花と緑のまちづくり推進」の結集 を提言します。

分科会:福岡グロースネクスト(14:00~17:00)

まちビトトークー福岡の地域性が育む"まちビト"とは一

21世紀交流プラザ1階多目的ホール 9月9日(日)10:00~12:00

下野弘樹(ON THE STAGE) たいら由以子 (特定非営利活動法人循環生活研究所) 片田江由佳(福岡ピクニッククラブ) 三谷繭子(日本都市計画家協会、 (株) Groove Designs)

「自己流の活動がまちに影響を与えた人=まち ビト」と定義し、従来の都市計画やまちづくりの 枠だけでは捉えられない新しいまちづくりの基 点(=まちビト)について、参加者との対話型で その姿を捉えていきます。地方初開催のまちビ トトークでは、福岡ならではの「まちビト」を迎 え、福岡独自の「まちビト」像を考えていきます。

交通とまちづくりー福岡市の交通と都市の姿130年ー

旧工学部本館1階大講義室 9月9日(日)13:00~15:00

辰巳浩(福岡大学) 梶田佳孝(東海大学) 大井尚司(大分大学) 中村宏((株)福山コンサルタント) 成長著しい福岡市には過去、現在、将来にわ たって様々な交通課題が横たわっており、その 内容も都市部、郊外部、過疎地といった地域的 なもの、通勤交通、観光交通等時間的なもの等 多岐にわたっています。ここでは各パネラーの 専門的知見を交え、その課題認識、解決方法お よび他地域に共通する今後の交通の在り方等 について議論を進めます。

エリマネ組織のネットワークを考える

旧工学部本館3階10番講義室 9月9日(日)13:00~15:00

小林誠(We Love天神協議会) 谷川麻祐子(博多まちづくり推進協議会) 高園英太郎(福岡市) 松原卓也(札幌市) 長谷川隆三(日本都市計画家協会、 (株)フロントヤード)

エリアマネジメントは、エリアごとに多様な活動 組織構成となっているが、その多くで人的、資金 的な活動基盤がぜい弱な状況にあると言えます。 エリアマネジメントの活動基盤の強化に向けて は、行政との連携が欠かせないものとなるが、そ の在り方もまた多様です。今回は福岡のエリアマ ネジメントの経験をベースとしつつ、札幌の事例も 理解しながら、課題を共有し、今後の行政とエリア マネジメント組織の係り方について議論します。

人が集まる場所のつくり方

旧工学部本館3階大会議室 9月9日(日)13:00~16:00

泉英明((有)ハートビートブラン) 木藤亮太((株)油津応援団、(株)ホーホゥ) 三谷繭子(日本都市計画家協会 (株) Groove Designs) 片田江由佳(福岡ピクニッククラブ) 冨永ボンド(ボンドアート) 渡会清治(日本都市計画家協会)

街なかに人が集まらない、賑わいが失われた、 多くの都市・地域でそうした問題が指摘される ようになって久しい。一方で従来のやり方とは 異なる方法論で、果敢にこうした課題にチャレ ンジし、新たなにぎわいの場、コミュニティの場 をつくる試みが行われています。今回は、こうし 臂徹(田本都市計画家協会、(株)キャッセン大船渡) た賑わいの場づくりを現場で試行しつつ実践し ているプレイヤーに集まっていただき、「人が集 まる場しについて語り、その「作り方・プロセス・ 仕組み」についての熱い意見交換を行います。

熊本地震と九州北部豪雨から考える地区レベルの復興

21世紀交流プラザ1階多目的ホール 9月9日(日)13:00~15:00

宮田有佳(熊本県益城町役場復興整備課) 古荘直樹(熊本県益城町櫛島地区 まちづくり協議会会長 梅田功 (朝倉市復興推進室室長) 師岡知弘(福岡県朝倉市集落支援員) 加藤孝明(日本都市計画家協会、東京大学) 柴田祐(熊本県立大学)

地区スケールの復興では、住民同士で話し合い を重ねる必要がありますが、住民自身が被災者で あり、さらに高齢化、人口減少、コミュニティの維 持など被災以前から抱える課題は被災により深 刻になります。熊本地震と九州北部豪雨を対象と して、地区スケールの復興における課題につい て、異なる災害から構造的な共通点をあぶり出し ながら、異なる点は異なる点として理解を深め、 地区としての復興のあり方について検討します。

プランナーの職能とAI(街づくりAI研究会)

旧工学部本館3階10番講義室 9月9日(日)15:00~17:00

守真弓(NPO高度情報通信 都市計画シンクタンク会議) 小泉秀樹(日本都市計画家協会、東京大学) 江井仙佳(日本都市計画家協会、 アビームコンサルタント) 守茂昭(日本都市計画家協会、都市防災研究所)

AIの目覚ましい進展を紹介しつつ、多くのジャン ルでAI化が急ピッチに進む中、街づくりコンサル タントの世界に登場するAIは、積極的に採用す べきものと、採用に慎重になるべきものとが混在 していることを示します。一般には便利な道具と してしか目に映らないAIに、なぜ危険視すべき 要素も隠される場合があるのか?プランナーと は、技術の進展についてのそういった負の側面 を認識し、警告できることも大切な職能であるこ とを来場者に訴えることが必要です。

パネル展示/プレゼンタイム

21世紀プラザ2階講義室A/B 9月8日(土)13:00~18:00/9日(日)10:00~15:00 日頃、まちづくりやくらしづくりなどに取り組んでいる団体・企業の活動紹介パネルを展示します。会期中は 常時(9日15時まで)見ることができます。シンポジウムやフォーラムの合間に、ぜひお立ち寄りください。 8日15時15分から参加団体・企業によるプレゼンタイム(意見交換会)を行います。 見学・飛び入り参加も大歓迎です。

エクスカーション

新しい大学像を展望する一九州大学伊都キャンパスツアー

9月10日(月)9:30~11:30

坂井猛(日本都市計画家協会、九州大学) 山王孝尚(九州大学)

9時30分に九州大学伊都キャンパス・ビッグオレンジ(福岡市西区元岡744、設計:石田壽一)に集合、大 学改革の新舞台を設定したキャンパス・マスタープラン(九州大学+三菱地所・シーザーペリ・三島設計共 同体、センター地区:九州大学+黒川紀章・日本設計)等を概説し、椎木講堂(設計:内藤廣)、中央図書館 (設計:石本建築事務所)、イースト1号館(設計:石本元建築事務所)、ゲートブリッジセンター2号館(設 計:黒川紀章・日本設計)、ウエスト1号館(設計:ペリクラークペリ)等を解説しながらまわります。